

代表質問をしました

～自民党未来～

代表質問要旨・答弁

1 来年度の予算編成について

紀伊半島大水害からの復興・復興や直面する県政課題への対応など来年度予算編成にどのように取り組まれようかとされているのか。

【荒井知事】

平成24年度予算案については、

①紀伊半島大水害からの復興・復興の重点的推進

②県政が直面する政策課題への積極果敢な対応

③財政健全化に向けた取組この3点を基本方針に編成を進めているところ。

財政の健全化を図りつつ、直面する諸課題から逃げることなく、知恵を出して積極果敢な取組を進め、奈良のよりよき未来を築いていくための予算を編成する考え。

2 南部振興について

(1) 観光振興について
南部振興の大きな柱でもある観光振興について、どのように進めていこうかと考えているのか。

【荒井知事】

県の今後の取り組みについては、
①世界に誇れる歴史・文化・自然等の地域資源を活用した通年型の周遊観光にした

②新たな地域資源の掘り起こしによる、地域の魅力の創出・向上。

これらを実践する為に地域の特徴ある資源の発掘に努めるとともに、それらあるものを活かすことを通じて観光地づくりをすすめ、交流人口の増加、南部振興に努めていきたい。

(2) 道路整備について

県南部地域の観光振興など、地域の活性化を実現する国道169号高取バイパスについて、また南部地域への誘客につながる明日香を観光拠点とした広域観光ネットワークの整備について、どのように取り組まれているのか。

【荒井知事】

今年度中に県道檜原高取線から町道清水谷市尾丹生谷線の1.4km区間の供用を目指して整備を進めている。町道清水谷市尾丹生谷線から現国道169号までの南側約2.0km区間については、約31%の用地買収を終えており、用地買収を進めるとともに、順次道路整備を進める予定。

野口平田線については、

来年春季の供用を目前に整備を進めているところ。石舞台周辺の桜井明日香吉野線や多武峯見瀬線については、関係機関と協議・調整を行っているところ。都市計画

決定については平成25年7月を目指している。

(3) 医療について

県は、市町村とともに、公立病院の機能再編を中心とする南和の地域医療を再生する事業を始めようとしているが、南部の振興に必要な、住民の安心につながる医療について、特に新しい病院の整備をはじめ、どのような医療の体制を目指していくのか。

【荒井知事】

病院機能再編によって、目指す南和の医療体制のポイントは4つ。

①近鉄福神駅前、地域の救急を断らない250床程度の「救急病院」を新たに整備する。あわせて、消化器・呼吸器・糖尿病などの専門医療を中心に行うとともに、災害拠点病院の機能を果たせるため、ヘリポートも設置すること。

②県立五條病院、国保吉野病院のそれぞれを、地域ニーズの高い、90床程度の療養病床を有した「地域医療センター」としてリニューアル改修すること。在宅への連携を見えた高齢者外来として、まず内科・整形外科を設置する予定。

③新たな救急病院がへき地医療の支援をする役割を担うこと。医師・看護師の養成・派遣や、山間地域での巡回診療を行う。さらに、3病院とへき地公立診療所との間で、診療予約やレントゲン結果の相互利用などが可能となる「診療情報ネットワーク」の構築を行っていききたい。

④3病院の経営を統合し、機能分担を確実にするとともに、地域やへき地の医療機関、県立医科大学との連携体制を確立することが必要。そのための取組を行うこととしている。

病気を発症してから社会復帰するまで、南和地域全体で「切れ目のない医療提供システム」を構築し、住民に最適な医療を、南和地域の中で継続的に提供できる体制を目指したい。

3 旧耳成高校の活用と中部地域再配置構想について
旧耳成高校の運動場部分の進捗状況及び、今回の中部地域再配置構想により県が目指しておられるところについて、伺いたい。

【荒井知事】

運動場部分については、全国でも有数規模の農産物直売所を核とした大型集客施設を誘致し、「JANAならけん」が事業主体となった平成25年4月の開業に向けて、順調に準備手続きは進んでいる。

中部地域再配置構想が目指しているところとしては①大規模な耐震改修や建替を行うのではなく、施設集約と既存施設の有効活用により、建設に関するコストを削減。

②県機関を大幅に集約することで、総務・管理部門を

共通化し、職員数の減少に対応。

③集約により組織力を強化し、各機関における新しい行政課題に的確に対応し、行政サービスの向上につなげる。

地域活性化につながる南部・東部の県機関のあり方についても、さらに検討してまいりたい。

4 高校生の就職について
来春卒業予定の県立高校生の就職について、現在のところ就職内定率はどのようになっているのか。また、県教育委員会としてどのような支援をしているのか伺いたい。

【富岡教育長】

来春卒業予定の県立高校生の就職内定は、10月末現在で県教委独自調査を行ったところ内定率61.1%になっており、前年同月比で4.9ポイント上回っている状況。

県教委の支援については、就職に課題を抱える県立高校に対して、緊急対応として本年度は8校に就職サポートを配置。県教委に2名の就職支援員を配置、県内高校からの要請に応じて就職希望者に対し個別面談及び面接指導を行っているところ。

今後とも、就職未内定者に対して、関係機関との連携を強めるとともに、鋭意高校生の就職を支援してまいる所存。

県政報告会を開催させて 頂いております



- ①大和都市計画区域マスタープラン及び旧耳成高校運動場部分の活用について
- ②奈良県立医科大学附属病院について
- ③奈良県のすがたについて
- ④「関西広域連合」に関する奈良県の考え方
- ⑤台風12号被災地視察について
- ⑥その他



私の履歴書は次号に掲載させていただきます。

ホームページ <http://www.yamamotonobuaki.com/>
メールアドレス nobuaki1954@yahoo.co.jp

ご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年中は後援会活動にご理解を賜りあつく御礼申し上げます。
昨年は、各地域での県政報告会を、九月十一日から始め、二十か所ですべて頂き、たくさんの方にご出席を賜り有難うございました。
山本のぶあき後援会
会長 花井 萃